

我々が提案した協働事業は“農業分野における障がい者雇用促進プラン”というもので、障がい者の方に農業も一つの就業先であることを認識してもらい、農業分野での雇用を進めるきっかけづくりをしたいと考えています。

4 月 11 日の合同スタートセミナーでは時間が足りなかったのを改めて今回の協働メンバーで第一回検討会を 4 月 25 日（水）にアスト津にて実施しました。ちなみにこのチームで進めるにあたりチーム「NSK48」という愛称を決めました。N は農業、S は障がい者、K は雇用です。48 はまあ AKB48 ののりで意味ありませんが（笑）。

今回は県の担当者の他には農業指導者として元三重県農業大学校副校長の小森善雄氏やすでに障がい者雇用を実践されている農業経営体である有限会社 亀井園芸 代表取締役 亀井輝忠氏にも参加していただきました



有限会社 亀井園芸 概要

住所：津市河辺町 4 5

美里農場：津市美里町家所 5 3 0 7

○資本金：1000 万円

○従業員数：40 名

○事業内容：花壇苗・野菜苗 生産・卸・直売
施設花壇設計・施工・管理

※これまでに 20~30 名の障がい者を雇用されてきた。現在 2 名の障がい者の方が就業中。

（写真は亀井社長・・・亀井園芸 HP より）

会議ではまず亀井氏の紹介からスタートし、今後どのように進めていくかを中心に活発に議論しました。協働するメンバーは他に必要かとか、アンケートやヒアリングの中身、そのほか次のような熱い意見がいろいろ出され大変有意義な検討会でした。

- 農業者側から福祉事業者に仕事を委託することもある。こうすれば農業者側の不安が少なく済むのではないか。
- 農業者側から見た障がい者ということでは健常者より能力があるひともいる。マッチングが不十分で雇用につながっていない。
- 体験農業をやることも検討すればいい。
- 農業大学校でも指導者として福祉のわかる人を置くことを検討したらいい。
- 発達障がいの方はグレーゾーンであるがなんとかこの事業の中に入れていきたい。

当初この提案を実行するにあたり少し不安や心配をしていましたが、今回の検討会を終えて今後の活動に勇気が湧いてきました。

※今後の予定

次回までに人材育成センターでアンケートの素案をつくります。すでに一部福祉関係者への調査を進めている県農林水産部担い手育成課の中西氏に事前に確認していただき、次回その素案について検討し、アンケート内容を確定する予定です。

次回打ち合わせ

日時：2012年 5月 29日（水）13：30～15：00

場所：アスト津3F みえ県民交流センター 交流スペース